

第0章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

第12章

第13章

第14章

DOLPHINROSE

# AC 無料講座

## 第11章

『AC をする上で注意したいこと（その1）』





## 目次

1. ごあいさつ
2. 変なところと繋がらない
3. 当たった・当たらないに拘らない
4. 自分の子が一番難しい
5. モラルを守る

※本教材、および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されております。

教材に含まれているコンテンツを、その一部でも、書面による許可(ライセンス)なく複製、

改変するなどして、またあらゆる データ蓄積手段により複製し、

オークションや インターネット上だけでなく、転売、転 載、配布等、いかなる手段においても、

一般に提供することを禁止します。

# 1. ごあいさつ

こんにちは(^^♪ゆうです。

第 11 章では、『**AC をする上で注意したいこと**』について説明していきますね。

書いているうちに長くなってしまいましたので 2 回に分けてお伝えしていきます。

## 2.

## 変なところと繋がらない

一番大切なことなので、一番最初に書きますね。

「変なところと繋がらない」

そもそも「変なところ」ってどこでしょうか？(>\_<)

一言で言えば、「波動が低いところ」です。

動物とテレパシーを使ってお話をする…ということは、どうしても目に見えないスピ的（エネルギー的）なことが関わって来ます。

私はACを勉強し始めるのとほぼ同時にスピについても学び始めたのですが、最初の頃に「目に見えない存在の恐ろしさ」を直接的ではないにしろ間近で体験し、浄化の大切さを嫌という程痛感しました。

テレビのニュースでこそ、報道されませんが、その辺のコンビニで普通にお買い物をしている人が、目に見えない存在に脅かされて暮らしていることもあるのだということ

それくらい身近なところで信じられないようなことが起きているということを知りました。

当時私は、目に見えない世界というのは「1つ」だと勝手に思っていたのですが、本当にピンからキリまで沢山の層に分かれていることをその時初めて知りました。

だから、DolphinRoseでは天使系でもAC系でも講座をする際には、「安全面」を一番に気をつけるようにしています。

お1人でワークをされても、変なところと繋がらないところまで見届けてご卒業していただいています。

漠然としていると怖いと思いますので、少し具体的に言いますと

いたずら目的や、暇で構って欲しくて、動物のふりをして波動の低い存在がこちらに直接アクセスしてきたりすることがあります。

動物たちと繋がる回路がきちんと出来てしまえば、まず間違っ繋がることはありませんが、繋がり始めて安定しない時期は繋がった感覚をまだ体が覚えていないので、恰好の餌食にされてしまう傾向にあります。

大抵の場合は、変なところに繋がってしまった場合はものすごい違和感を感じますのですぐに気づくことが出来る場合が多いものです。

しかし、低い波動の存在と繋がった場合繋がる事が出来ているという自覚があるはっきりした感覚を感じるので、「これが繋がっている状態だ」と勘違いしてしまい、どんどん低いところと繋がりやすい体質になってしまうことがあります。

怖いことを書き並べてしまいましたが、**あること**を心がけていればまず波動が低いところと繋がる可能性は低くなりますので、そこまで怖がる必要はありません。

そのあることとは

- 1.「**基礎に忠実に、確実に繋がる事が出来るまでは手順通りに行く**」
- 2.「**動物たちや飼い主さんへの愛を忘れないこと**」
- 3.「**自分の波動を安定させること**」

3番目の自分の波動を安定させるために出来ることは沢山ありますが、その中でも3つあげるとすると

1. 自分の波動を観察する客観的な目を持つ
2. 自己肯定、自己受容を強くする
3. 波動を安定させるツールやテクニックを習得する

私は AC を学び始めてから 10 数年経ちますが、未だにこの「波動の安定」を保ち続けることが出来るように、日々、色々な学びと実践をしています。

「波動を安定させる」と、運も良くなりますし、幸せな出来事が増えて心も環境も豊かにもなります(\*^-^\*)

良いことづくしなので、ぜひこれらを心がけてみてくださいね。

## 3. 当たった・当たらないに拘らない

これは、ACを習得しようと思ったら誰でも1度は落ちる落とし穴ですね(^^ゞ

私も長い間落とし穴どころか、二度と抜けられないような底なし沼にはまっていたよ(>\_<)

今、ここにはまっている方たちにお伝えしたいことがあります。

それは、

当たった・当たらないに拘ることで、良いことなんて一つもないということです。

何も良いことがないなら、しない方がましですよ。

例えば、飼い主さんから違います…と言われたとしても、しばらくしてから「よく見てみたら合っていました」と言われることもしばしば・・・

**当たったから凄い**

**当たらないからダメ**

という思い込みを一旦外しましょう。

右脳をしっかり開いていたら「当ててやろう」と思わなくても、正確な答えを受け取ることが出来ます。

普通に受け取った情報をお伝えするだけで勝手に、飼い主さん側からみたら「当たった」ことになる…ということが増えていきます。

「当たる」というのは結果であって、目的ではないのです。

しつこいようですが「当たった・当たらなかった」というジャッジは、ACが出来ている、出来ていないということを見分けるための方法ではないということを確認しましょう。

ACは当たったから100点はずれたから0点という極端なものではありません。

80点位で合格だと思ってください。

そして自分がACを始めた理由・目的を思い出し、それをぶれないで持ち続けて下さいね。





## 4.

# 自分の子が一番難しい

意外と知られていないことですが、ACは自分の子とコミュニケーションするというのが一番難しいのです。

理由は2つあります。

**1つ目はペットの情報を事前に多く知りすぎていること。**

最初から情報が沢山あることで、先入観が入ってしまい、左脳が記憶からどんどん推理を始めてしまうからです。

**そして2つ目は答えを聞くのが怖いという思いがあります。**

自分の子とコミュニケーションをする場合、その質問は深刻な内容が多いものです。

何故ならそれ以外の軽い質問ならば、普段の生活の中で動きや表情などを見ることで、当たり前のように答えを感じ取ることが出来ているからです。

ACが出来なくても、ペットを飼っている人なら誰でも、ある程度のペットさんの気持ちは分かっています。

- ・お散歩が好き、または苦手
- ・寂しがり屋
- ・病院は嫌い
- ・今、喉が渴いている
- ・今、喜んでいる などなど・・・

飼い主さんはペットさんから伝わって来たものをちゃんと正確にキャッチしています。

そうすると、ACで聞いてみたいのは、そばにいても仕草を見ても表情を見ても答えを得ることが出来ない質問になります。

我が家には、殺処分当日に保健所から引き出されたトイプードルがいます。

日々の生活の中でACを行います、でも、未だに聞くことが出来ていないことがあります。

それは、「前の飼い主さんについて」

もし「前の飼い主さんのことが大好きで前のおうちに帰りたい」と言われるのが正直怖かったりします(>\_<)

この子は、我が家に来た当時はガリガリに痩せていて、栄養失調で耳には毛が生えていませんでした。

保健所に収容された当時はリードをつけっぱなしの状態に保護されたそうです。

このような状態にまでなってしまった経緯も、もし知ったならば自分が耐えられないような気がして聞くことが出来ていません。

**表面上は聞きたいけれども、心の奥底で「聞くのが怖い」と思っていると、質問自体が動物側に伝わらなくなってしまいます。**

世界的に有名なアニマルコミュニケーターの方でも、自分の子を安楽死させるべきかどうかという深刻な内容については、何人ものコミュニケーターを自宅に呼んで何を言っているのか聞いてもらうそうです。

自分では怖くて平常心を保つことが出来ないからです。

ACをする上でこの平常心は不可欠です。

もし無事に繋がって質問出来たとしても、今度は答えを受け取る・・・ということが出来ません。

自分の心が拒否して、耳を塞いでしまうからです。

自分の家の子とお話する際は、最初は、他愛もない話から始めてみて下さいね。

私の場合は、毎日のお散歩中に練習を兼ねて何気ない会話をするように心がけています。

「今、何の匂いを嗅いでいるの？」

「お散歩は楽しい？」

「今日はお天気が良くて気持ちが良いね」

時々こちらが想像もしない答えが返って来て、

「ふふっ」

と思わず笑ってしまい、周りから見たらとても怪しい人になっていますが・・・(>\_<)

そして、会話だけでなく「リンク（共感）」の練習もします。

その子が感じている足の裏の感触

嗅いでいる匂い

聞こえている音

そうすることで、自分の子と繋がる感覚を、繋がるのが当たり前と感じられるくらい、自分の身体にたっぷり教え込むのです。

その結果意識することなく、繋がろうと思ったときに抵抗なくスムーズに自分の子と繋がれるようになります。

# 5.

## モラルを守る

AC では、テレパシーを使います。

そして情報を読み取るなど、エネルギー的に動物たちばかりでなく飼い主さんたちにも色々と働きかけることになります。

当たり前なのですが、現在日本ではエネルギーでの侵害について、明確な法律が存在しません。

エネルギーに関しては、世間一般に「これ」といった「モラル（倫理）」が存在しないということなんですね。

**でも、エネルギーは場合によっては毒にも、薬にもなります。**

取り扱い注意の劇薬物だと認識しておいて下さいね。

劇薬物の取り扱いについては日本では「毒物劇物取扱責任者」という国家資格が存在します。

でも AC は、国家資格ではありません。

ある日突然「私はアニマルコミュニケーターです」と名乗ってしまえば、その日からプロのアニマルコミュニケーターとして活動することが可能です。

AC をする際は、こういったことも踏まえて、自分の中できちんと「モラル」を確立しておく必要があります。

そしていつもその原点に立ち返る、意識するといった癖をつけておきましょう。

私が AC を学び始めた 10 数年前と比べて、今は、その数百倍、もしかしたら数千倍にアニマルコミュニケーション人口が増えました。

それと共に、耳に入って来る機会が増えているのが AC でのトラブルです。

一部のモラルを守らないコミュニケーションさんがいることで AC 全体の世間への印象が悪くなってしまいます。

海外の方の AC 関係の本を読むと、この「モラル」の大切さを強く語っている方たちが多いのですが、恐らく強く書かなくてはいけないくらいトラブルも多いということなのでしょう。

コミュニケーションさんたちそれぞれに、まず独自のモラルを決められていて、それを守る大切さを訴えています。

自分なりのモラルと言っても、急に浮かばない・・・という場合は、最低でも下記のこと  
は守るようにしましょう。

- ◆ AC での会話の中身はプライバシー侵害にあたるので口外しない。
- ◆ AC で受け取った情報を飼い主さんに偽って伝えない。
- ◆ 医療行為にあたることおよび医療行為に影響があることは行わない。
- ◆ リーディングで得た情報は飼い主さん以外には許可がない限りは伝えない。
- ◆ AC は許可を得て行ったとしても、「エネルギーの侵害」に代わりはないので節度を守って、必要最低限で侵入する。
- ◆ 動物たちに「敬意」を払って行う。
- ◆ 動物たち、飼い主さんたちに及ぼす AC の影響力を自覚して行う。
- ◆ 動物たち、飼い主さんたち双方に出来ない約束をしない。また、期待を持たせるようなことをしない。

当たり前のことばかり…と思われたかもしれませんが、ACでの経験が増えて来たり、依頼が増えてくると、この辺りが見えなくなってしまうものです。

文章で書き出して見える化して、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

そして、経験を重ねられながら、項目を自分なりに変えたり、増やしたりしていきましょう。

---